

マーケットレポート

日本株式市場の大幅下落について

3月9日の日本株式市場は、日経平均株価が前日比▲1,050.99円の19,698.76円(前日比▲5.07%)、TOPIXは前日比▲82.49の1,388.97(前日比▲5.61%)となりました。日経平均株価は一時1,200円を超過下げ幅となる場面がありました。

◆背景について

中国に端を発する新型コロナウイルスは欧米でも感染が拡大し、世界経済減速に対する懸念が一段と高まっています。投資家のリスク回避姿勢が強まったことで為替が急速に円高・ドル安方向に推移したことに加え、原油価格が大幅に下落したことも相場の重石となり、日本株式市場は大幅に下落しました。海外株式市場についても、シカゴ・マーカンタイル取引所の夜間取引においてNYダウやS&P500の先物が制限値幅の下限をつけるなど全面安の展開となりました。

◆今後の注目ポイント

足元では、FRB(米連邦準備理事会)が緊急利下げを実施するなど、主要中銀が景気下振れリスクに対し金融政策に取り組む姿勢を示していますが、金融政策では新型コロナウイルスの感染拡大そのものは抑制できず、効果は限定的であるとみなされています。しかし、主要中銀の協調により企業の資金繰り悪化等による金融危機のリスクは大幅に低減されます。また、主要各国の金融面における迅速な対応に加え、今後は財政面での協調も期待できることから、世界景気が急速に縮小するリスクは低いものと考えられます。こうした取り組みの間に検査体制の整備やワクチンの開発などにより新型コロナウイルスの感染拡大がある時点では止まることが予想されます。今回の新型コロナウイルスで人・物の動きが制限され、企業のサプライチェーンに深刻な影響が出ていますが、自然災害とは異なり物理的なインフラには問題はないため、終息に向かえば世界景気は急速に正常軌道に戻るものと想定されます。世界の株式市場も当面は不安定な動きが続くものの、経済の正常化の兆しが見えれば反発することが期待されます。

◆日米の市場および為替の推移

日米金融市場		3月9日	前日比	
		終値	変化幅	騰落率(%)
株式	日経平均株価(単位:円)	19,698.76	▲ 1,050.99	▲ 5.07
	TOPIX	1,388.97	▲ 82.49	▲ 5.61
	NYダウ(単位:米ドル)	25,864.78*	▲ 256.50	▲ 0.98
	S&P500	2,972.37*	▲ 51.57	▲ 1.71
債券	日本10年国債利回り(単位:%)	▲0.149	▲0.028	—
	米国10年国債利回り(単位:%)	0.762*	▲ 0.150	—
為替	米ドル/円(単位:円)	102.01	▲ 4.24	▲ 3.99

(出所) Bloomberg、一般社団法人投資信託協会のデータをもとにJP投信作成

※米国金融市場は現地時間3月6日基準

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第2879号

加入協会:一般社団法人投資信託協会

当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。